

昭和27年11月20日 第3種郵便物認可 平成14年10月5日発行/毎月5日発行

學鏡 10

Vol.99 No.10

GAKUTO/OCTOBER 2002/MARUZEN CO.,LTD.



學 鏡 第九十九卷 第十号 目次

▼特集 文学と科学

文 学 と 科 学 増田 みず子 (四)

術 の ノ ス タ ル ジ ア 小 谷 真 理 (一)

イギリス自然神学詩について 笠原順路 (三)

第 三 の 文 化 武 藤 浩 史 (四)

科学と文学のあいだ 池 内 了 (六)

▼私の古典、私と古典(七) 本 間 長 世 (三)

F・J・ターナーの フロントニア説

▼連載 平 川 祐 弘 (三)

天ハ自ラ助クルモノヲ助ク(19) 中村正直と『西国立志編』

「學 鏡」を 読 む (163) 紅 野 敏 郎 (三)

—吉屋信子

▼書評

井上史雄、鎌水兼貴 編著 山 根 基 世 (四)

辞典〈新しい日本語〉 西 川 長 夫 (三)

イアン・ニッシュ 編 中 村 浩 志 (四)

欧米から見た岩倉使節団 山 岸 哲 編著

アカオオハシモズの社会 黒 田 豊 (三)

Douglas Thomas 著 松 永 久 (三)

Hacker Culture 木 村 尚 三 郎 (四)

Julian Spalding 著 橋 田 充 (三)

The Poetic Museum 金 子 賢 治 (三)

梶本久夫 監修

ユニバーサルデザインの考え方

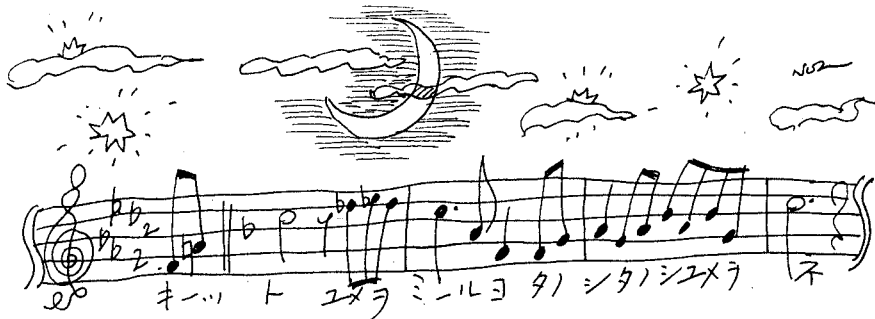
▼外国雑誌紹介

Bioconjugate Chemistry

▼今月の表紙 南部鉄瓶

▼丸善社史資料 6 ポスター(洋品・雑貨下)

★和書新刊紹介 (五)



イギリス自然神学詩について

笠原順路

英文学のなかのあまり知られていないジャンルに、自然神学詩 (Physico-theological poetry) という範疇がある。ただし、これは呼称があまり知られていないというだけで、テーマ自体は十七〜十八世紀文学の中心をなすもので、簡潔には、詩人が、創造主により創造された全宇宙を総覧し、そのなかの秩序や調和、また背後の創造の御業を讃える詩、と定義できる。詩人たちは、「全宇宙を総覧する」という部分に時の最先端の自然科学を取り入れ、被造物の細密な観察をおして造物主を讃えようとした。そこに文学と科学と神学の接点があった。いや、三者は未分化の状態であった。

そもそも「自然神学」という語は、十七世紀後半に、植物学者レイの『三編の自然神学論』(John Ray, *Three Physico-Theological Discourses*, 1693) で用いられ始めたが、広くゆきわたる契機となったのは、デラムが一七一一年から一七二一年に口頭で発表した「ポイル講演」および、それに基づいて翌年出版された『自然神学』あるいは創造の御業から証明する神の本質と属性』(William Derham, *Physico-Theology, or a Demonstration of the Being and Attributes of God from his Works*

of Creation, 1713) であった。

一六九一年に没したロバート・ポイルはその遺志により、年額五十ポンドをキリスト教擁護を目的とした講演の設立のために拠出し、ジョン・イーヴリンをはじめとする四人の遺産管理人に、講演担当の宗教関係者の選定に当たさせた。最初のポイル講演は、一六九二年にリチャード・ベントレーにより「無神論を反駁す」と題して行われた。ほかに初期のポイル講演の演壇には、サミュエル・クラーク、ジョン・ハリズ、ウィリアム・ウィストンらが立った。デラムの講演は先に述べたように一七一一年から翌一七二二年まで十六回行われ、翌一三年に出版され、その後一七五四年まで十二版を数え、国外では三二年には仏語、三六年にはスウェーデン語、五〇年には独語に翻訳されている。彼らポイル講演者たちの最大の功績は、ニュートンらの自然科学の諸発見を神学的枠組みのなかに入れ込むことであった。

時すでに理論的思想傾向は成熟しかかっていた。シャプツェリ伯『諸特徴』アディンソンの日刊紙『観察者』の出版がずれもデラムのポイル講演の年と同年である。

ブラックモア『天地創造』(Richard Blackmore, *Creation*, 1712) はまさにこうした時代の産物である。その後も典型的な自然神学詩として、トムソン『冬』、その改訂増補版の『四季』(James Thomson, *Winter*, 1726; *The Seasons*, 1746)、マント『逍遥』(David Mallet, *The Excursion*, 1728)、ヘイカー『宇宙』(Henry Baker, *The Universe*, 1734)、ブルック『万物の美』(Henry Brooke, *Universal Beauty*, 1735)、エイケンサイエ『想像力の喜び』(Mark Akenside, *The Pleasures of Imagination*, 1744) などを挙げるべきであるだろう。これらは正統的な自然神学詩と見てもよいものだが、しかし、詩人が全宇宙を均等にくまなく総覧できるかといえば、それは難しい注文で、人により描写に偏りが生じるのは当然である。ポープ『人間論』は通常、自然神学詩として分類されることはない。周知のとおりこの作品は人間の内面世界の秩序を描くのが主眼である。ヤング『夜想』もやはり、自然界の精密な描写にいささか欠ける嫌いがあり、その上、正統的キリスト教の神の讚美への傾斜が大きすぎる。しかし、自然界を構成する小宇宙がそれぞれに秩序を保っていて、それぞれが照応関係にあるとすれば、単一の小宇宙の調和を描くということは、ひいては、大宇宙の調和を描くことにも通ずることになる。だから、自然神学詩を最も緩やかに定義するならば、ポープ『人間論』やヤング『夜想』などもその範疇に入れてよいかもしれない。少なくとも著者の意図において

こう考えてくると、自然神学詩の裾野はどこまでも拡がってゆきそうだが、しかし限界はある。紙幅の関係で引用はできないが、ウィリアム・クーバ『課題』は、自然描写から宗教的瞑想へと進んでゆく部分よりは、はるかに清新な自然描写の方が優れている。時にその自然描写には、神の束縛から自由になった喜びさえ感じられる。時計の製作者より時計そのものの方に価値を見出し始めているのだ。前ロマン主義と呼んでもよい作品である。

神の存在証明から啓示が排除された時代にあつて、万人に生得的に付与された理性だけでは、永遠の真理を、そして万象を表現するのに不十分であったからこそ生じたのがこの自然神学詩というジャンルなのかもしれない。しかし大局的に見れば、広義の自然神学詩の文学史上の重要な意義は、皮肉なことに、万象の背後にある造物主の御業を讃えた部分よりも、万象の精密な描写、また万象に内在する自立した有機的な生命原理の描写、さらには万象を精密に観察する観察者の自我意識の描写の部分の方に、作者も興味があり、読者も好意を示し、そして何よりもそちらの方が優れていた点にある。十八世紀後半のいわゆる前ロマン主義の時代の詩群の多くは、こうした自然神学詩から一歩踏み出した作品である。このような土壌から後代のロマン主義が芽生えてくる。ニュートンとロマン派をつなぐ鎖の輪——それが自然神学詩なのだ。

(かさはら・よりみち 明星大学教授)

科学歳時記

小山慶太 著 本体1,600円 B6判・244頁

科学に関連するエピソードやトピックス、また科学史に残る数々の業績、人物とその裏話などを「一日一話」形式で綴る。どこからでも読んで楽しめる“科学のこよみ”。

科学史の小径

渡辺正雄 著 本体2,330円 四六判・256頁

科学者の人間性や社会、思想、文学などを、さまざまな角度から考察。科学史を軸にガリレオやニュートンら偉大な科学者たちの人間臭い発想の仕方や、実験の裏話などを紹介しながら、科学史研究に基づく現代の問題までも言及する。

科学史の世界

大野 誠・小川真理子 編著 本体2,800円 A5判・288頁

科学とキリスト教、科学と文学など他分野との深い結びつき、西洋科学と江戸・明治期の日本など、過去から現代にわたる広範なテーマを取り上げ、科学史の世界を浮き彫りにする。

アイザック・アシモフの科学と発見の年表

Isaac Asimov 著 小山慶太・輪湖 博訳

本体3,800円 <コンパクトサイズ> A5判・568頁

SFをはじめ、科学、数学、歴史、文学など、その才能をふるってきたアイザック・アシモフが自ら書き下ろして編集した世界史における科学と発見の年表。自然科学全般をコラム形式の読み物としてまとめ、どこから読んでも楽しめるよう構成。

アイザック・アシモフの世界の年表

Isaac Asimov 著 川成 洋訳 本体12,000円 B5判・758頁

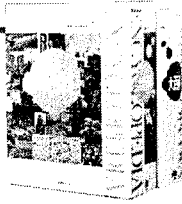
アイザック・アシモフが最後に書き下ろした大作の日本語版。宇宙の誕生から現代まで、150億年におよぶ地球の、そして世界の歴史を、各時代、各地域ごとに、コラム形式の読み物として迎ってゆく世界史年表。

丸善エンサイクロペディア 大百科

大百科編集委員会 編

本体31,000円 A4判・2640頁 上製・函入

膨大な知識の宝庫となる百科事典を一冊に編集。世界共通の基礎知識をベースに関連するキーワード目次から次々に知識を発展させる斬新な構成。10,000点を超えるカラーイラストと写真に、25,000の小項目事典と歴史年表を付加。



※価格は税別

丸善【出版事業部】〒103-8245 東京都中央区日本橋2-3-10 営業部TEL(03)3272-0521 FAX(03)3272-0693
http://pub.maruzen.co.jp/

「学鑑」の定期購読をおすすめいたします

お申込み・お問合せは、〒103-0027 東京都中央区日本橋3-13-6 丸善(株)学術情報ナビゲーション事業部 企画開発部 (電話03-3275-8595)へお願いいたします。本誌購読料は年間¥1,600(送料・税込み)です。なお、ご購入期間は三年分まで承ります。



ESTABLISHED #1869

本社【〒103-8245】東京都中央区日本橋2-3-10

http://www.maruzen.co.jp/

☎(03)3272-7211

振替:00170-5-5

首都圏本部	〒103-8245 東京都中央区日本橋2-3-10	☎(03)3272-7211
札幌支店〔営業センター〕	〒004-8502 札幌市清田区北野六条1	☎(011)884-8120
仙台支店	〒980-8566 仙台市青葉区国分町1-5-26	☎(022)222-1131
筑波支店	〒305-0005 つくば市天久保3-9-1	☎(0298)51-6000
横浜支店	〒231-8488 横浜市中区弁天通2-34	☎(045)212-2031
名古屋支店	〒460-0008 名古屋市中区栄3-2-7	☎(052)261-2250
金沢支店	〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コフィデンス金沢2階	☎(076)231-3155
京都支店〔営業センター〕	〒601-8033 京都市南区東九条南石田町5 京阪バス十条ビル2・5階	☎(075)671-3100
大阪支店	〒541-0059 大阪市中央区博労町3-3-2	☎(06)6251-2621
神戸支店	〒650-0022 神戸市中央区元町通1-4-12	☎(078)391-6001
岡山支店	〒700-0822 岡山市表町1-3-50	☎(086)231-2262
広島支店	〒730-0037 広島市中区中町7-23 住生平和大通り第二ビル6階	☎(082)247-2252
福岡支店	〒812-0025 福岡市博多区店屋町7-20	☎(092)291-4831

千葉営業部	☎(043)275-9011	盛岡営業所	☎(019)654-1051	松山営業所	☎(089)941-5279
八王子営業部	☎(0426)42-3711	静岡営業所	☎(054)246-5514	長崎営業所	☎(095)843-0355
大宮営業部	☎(048)641-7221	岐阜営業所	☎(058)273-1601	鹿児島営業所	☎(099)266-1500
新潟営業部	☎(025)244-7222	姫路出張所	☎(0792)22-2313	沖縄出張所	☎(098)861-4837

日本橋店	〒103-8245 東京都中央区日本橋2-3-10	☎(03)3272-7211	
お茶の水店	☎(03)3295-5581	立川伊勢丹店(文具)	☎(042)540-7355
丸ビル店	☎(03)5220-7551	ルミネ北千住店	☎(03)3879-1861~2
アークヒルズ店	☎(03)3589-1772	柏高島屋ステーションモール店	☎(04)7147-9836
渋谷東急店(文具)	☎(03)3477-3524	津田沼店	☎(047)470-8311
新宿京王店(文具)	☎(03)5321-4685	舞浜イクスピアリ店	☎(047)305-5808
府中伊勢丹店(文具)	☎(042)351-9006		

札幌南一条店	☎(011)241-7251	名古屋栄店	☎(052)261-2251
新札幌D.U.O店	☎(011)890-2586	名古屋松坂屋店	☎(052)264-2730
盛岡川徳店	☎(019)621-8844	京都河原町店	☎(075)241-2161
仙台一番町店	☎(022)224-8018	大阪心齋橋店	☎(06)6251-2700
仙台アエル店	☎(022)264-0151	なんばO.C.A.T店	☎(06)6635-3225
仙台141店	☎(022)268-8231	関西国際空港店	☎(0724)56-6486
仙台藤崎店(文具)	☎(022)221-5001	関西国際空港エプロプラザ店	☎(0724)56-8155
郡山うすい店(文具)	☎(024)935-8034	神戸元町店	☎(078)391-6003
新静岡センター店	☎(054)255-1851	岡山シンフォニービル店	☎(086)233-4640
浜松メイ・ワン店(文具)	☎(053)457-4811	福岡ビル店	☎(092)731-9000

New Jersey, London

学鑑 第99巻 第10号 1冊¥150(消費税共) 年間購読料¥1,600(消費税,送料共)

編集人 石川昌史 発行人 丸善株式会社 村田誠四郎 平成14年10月1日印刷 印刷所 大日本印刷株式会社
平成14年10月5日発行 発行所 丸善株式会社